

事業所名 ぱずる(児童発達支援)

## 支援プログラム

作成日 7 年 2 月 10 日

法人(事業所)理念		ご利用いただく皆様、そして、そのご家族様の笑顔のために あらゆるニーズに対応する努力を惜みず、 献身的なサービスを通じて、地域の発展に寄与する。					
支援方針		課題を5つの領域に分けた小集団活動・個別での活動を実施していきます。5領域から個々に合わせた活動を提供していきます。 好きなこと・興味があることから課題設定をし、「楽しい」「もっとやりたい」と感じながら学べる工夫をしています。					
営業時間		9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	児童の健康の確認を行うとともに、体調不良などの意思の表出が難しい方には表情や行動の変化を確認しながら健康管理を行います。 着脱などの簡単な生活スキル習得の支援方法を考え、環境的配慮を工夫し本人が理解出来るよう「見える化」するなど分かりやすく構造化します。					
	運動・感覚	運動機能、バランス感覚、力の強弱、距離感、様々な体の感覚・感触に触れ、感覚の成長を支援します。体の感覚は、リトミックや音楽活動を取り入れ力加減や、体の動きをコントロールするだけでなく、気持ちのコントロールにも役立たせていきます。 指先や手先の巧緻性を伸ばしていくために工作等も取り入れトレーニングを行います。					
	認知・行動	集団や個別活動の中で、情報を取得しやすいよう絵カード等で掲示しい「見える化」する等、本人の必要とするメッセージを選択し行動に繋げられるよう一連の認知工程の発達を支援しています。また、「着席」「先生(大人)をよく見る」「苦手なことにもチャレンジする」等課題に意欲的に取り組めるよう支援します。頑張ると「楽しい」「やってよかった」と感じるように関わり方や内容を工夫します。					
	言語 コミュニケーション	「要求」「報告」「聴く」「模倣」「観察する」など、周囲の人のことも考えられるコミュニケーションを学びます。言葉だけでなく、ジェスチャーやカードなど、子どもに合った方法を考え支援します。個別においては言語聴覚士による訓練も実施していきます。					
	人間関係 社会性	集団の活動にSSTを取り入れ、「順番を待つ・交代する」「役割」「ルールを守る」「説明通りの行動をする」など、社会に適応する為に必要なスキルを学んでいきます。また、「感情に気付く」「感情に名前を付ける」「対処法を考える」など、気持ちのコントロールを練習します。また切り替えが難しい際には子どものペースに合わせて関わり、ストレスを発散する方法・クールダウン方法を一緒に考えます。					
家族支援		面談の機会を設け、事業所での様子の報告の他家庭での聞き取りを行い情報の連携・心配事への助言を行います。		移行支援		必要に応じて保育園を訪問し、行事等、普段と異なる活動の際のこどもの関わりについて、具体的な関わり方のモデルを示していきます。	
地域支援・地域連携		保育園や幼稚園、就学先、医療機関等との会議に参加し連携を行っています。		職員の質の向上		委員会を設置し、各委員会の報告を含め全体研修を月一度実施しています。外部研修にも積極的に療育職員より参加をしています。	
主な行事等		季節に合わせた行事を取り入れています。また地域の方をお招きし、交流を行っています(交通安全教室等)。					